

掲示板

(当研究所・研究次長)

○「平成28年度鹿児島県JA経営塾」

主催 鹿児島県農協中央会

とき 平成28年8月8日

テーマ これからの農協組織再編

講演 太田原 高昭

(当研究所・顧問)

○「アフリカ地域・アグリビジネス

ス振興と農村開発コース」

主催 JICA北海道

とき 平成28年7月20日

テーマ 日本における農産品の流通

講義 飯澤 理一郎

(当研究所・所長)

○「第14回てん菜研究会」

主催 グリーンテクノバンク

とき 平成28年7月20日

テーマ テンサイ移植栽培における省力・低コスト化

推進のための栽植密度低減栽培と問題点

講演 鷹田 秀一

○「モザンビーク個別研修・農村振興技術セミナーコース」

主催 JICA北海道

とき 平成28年8月11日

テーマ 卸売市場の役割

講義 飯澤 理一郎

(当研究所・所長)

○「第33回時計台サロン」

主催 北海道大学農学部

とき 平成28年8月23日

テーマ 農政の戦後レジーム脱却とTPP

講演 太田原 高昭

(当研究所・顧問)

○「平成28年度大分県農政活動推進会議」

主催 大分県農協中央会

とき 平成28年8月26日

テーマ 新しい段階に入った農政活動と自己改革

講演 太田原 高昭

(当研究所・顧問)

○「農民参加による農業農村開発」

主催 JICA北海道

とき 平成28年8月29日

テーマ 農業経営の特徴と農産物・生産資材の流通の仕組み

講義 飯澤 理一郎

(当研究所・所長)

○「JAしまね教育文化活動会議」

主催 JAしまね

とき 平成28年9月7日

テーマ JA自己改革と教育文化活動

講演 太田原 高昭

(当研究所・顧問)

○「食農資源経済学会・第10回大会研究報告」

主催 食農資源経済学会

とき 平成28年9月10・11日

テーマ 雇用労働力逼迫下での農家の作付け選択に関する一考察

講演 山口 和宏

(当研究所・専任研究員)

○「日本土壤肥料学会二〇一六佐賀大会」

主催 日本土壤肥料学会

とき 平成28年9月20日

テーマ テンサイのカリウム施肥・リン酸施肥が収量・品質に及ぼす影響と土壌分析値との関連及び圃場における施肥効果の判別について

講演 鷹田 秀一
(当研究所・研究次長)

人事異動

△退任▽

特別研究員 西野 義隆

(7月31日)

※北海道信用農業協同組合連合会へ

◆ 編集後記 ◆

●特集「生乳共販体制の役割」(第二回)を掲載した。指定団体制度とは何かについて北大の清水池義治講師に解説いただいた。政府は農産物の流通・加工構造の改革や生産資材価格の国際水準への

DATA FILE

関連事項 / DATA

株式会社中セキ北海道
〒068-0014
岩見沢市東町2条7丁目1004番地1
☎ 0126 (22) 3388
Fax 0126 (25) 5645

雪印メグミルク株式会社 酪農総合研究所
〒065-0043
札幌市東区苗穂6丁目1番1号
☎ 011 (704) 2131
Fax 011 (704) 2417

北竜町役場
〒078-2512
雨竜郡北竜町字和11番地1
☎ 0164 (34) 2111
Fax 0164 (34) 2117

一般社団法人 北海道地域農業研究所
〒060-0806
札幌市北区北6条西1丁目4番地2
ファーストプラザビル7階
☎ 011 (757) 0022
Fax 011 (757) 3111
HP : <http://www.chiikinouken.or.jp>
E-mail : office47@chiikinouken.or.jp

表紙：「演習林 (美幌町)」
個人蔵
大坂雅博画



引下げにより日本農業を成長産業化する方針であるが、国会論議が本格化する中、ぜひご一読を願いたい。

●国連の調査で、日本は世界一七一カ国中、災害リスクの高い順で一七位。それを裏付けるように、連鎖地震が熊本・九州を襲い、台風が連続して北海道・東

北に上陸した。政府は激甚災害の早期指定と降雪前の災害復旧、明年の営農継続など、迅速かつ確な被害対応を約束した。国土保全などに果たす一次産業の役割を重視・支持する世論や一次産業を維持・発展させる取組みでも、日本が「世界有数の国」であることを証明してほしい。

●天気予報は、大戦中、軍事秘密とされ新聞・ラジオで伝えられず台風・大雨で多くの人命が失われた。天気予報の再開に人々は平和の証を感じたという。TPP交渉の経過も速やかに公表されてしかるべきだ。それが、国民の食と暮らしの安心の証となる。
(入江 千晴)